

# 成績評価と客観的な指標（GPA）の算出方法

## 1. 試験等

- (1) 学業成績は、授業科目ごとに行う定期試験のほか、授業科目により中間試験や授業内に行う効果測定、課題の提出等により評価する。
- (2) 本校において必要と認められた場合に限り、追試験または再試験などを実施する場合がある。追試験は事故等やむを得ない理由により試験等を受験しなかった者に対し行う。再試験は試験等受験の結果、不合格となった者に対して実施する。
- (3) 試験内容や判定基準は、各課程・学科によって異なるため、入学後のオリエンテーションや各種ガイドランスなどで確認する。

## 2. 学業成績の判定

学業成績の判定は、秀、優、良、可、不可の5種をもって判定し、秀、優、良、可を合格、不可は不合格とする。なお、学業成績の判定及び評価、成績証明書の表記は、下記表のとおりとする。

また、授業科目の成績はそれぞれの評価に対して、下記表に定めるGP（Grade Point）を与える。

| 判定  | 評価点      | 内容                         | 成績評価 | 証明書表記 | GP |
|-----|----------|----------------------------|------|-------|----|
| 合格  | 100点～90点 | 内容を十分に理解し、きわめて優秀な成績をおさめている | 秀    | 秀     | 4  |
|     | 89点～80点  | 内容を十分に理解し、優れた成績をおさめている     | 優    | 優     | 3  |
|     | 79点～70点  | 内容を理解している                  | 良    | 良     | 2  |
|     | 69点～60点  | 内容をほぼ理解している                | 可    | 可     | 1  |
| 不合格 | 59点以下    | 内容を理解していない                 | 不可   | 非表示   | 0  |
| 認定  | —        | 対象外                        | —    | —     | —  |

## 3. 単位の授与

授業科目を履修し、各科目の成績を判定のうえ、秀・優・良・可を取得した者には所定の単位を与える。

## 4. 客観的な指標（GPA）

本学では、成績評価における客観的な指標として、GPA制度（Grade Point Average）を採用する。

## 5. 客観的な指標（GPA）の算出方法

履修した科目の成績評価を、GP（Grade Point）に置き換えて単位数を掛け、その合計を履修単位数の合計で割って1単位当たりの平均点を算出したものである。これにより、学生個々の成績を客観的にモニターし、的確な助言や指導ができるようになる。GPAによって学修成果を学生自身が把握できるだけでなく、成績優秀者などの選考にも利用できる。

## 6. GPA算出方法

$$GPA = \frac{(\text{科目の単位数} \times \text{当該科目で付与されたGP}) \text{の合計}}{\text{履修科目の単位数の合計}}$$

※小数点以下第2位を四捨五入する。

※GPAの最高は4.0となる。（小数点以下第2位四捨五入）